

令和7年8月21日（木曜日）

性被害防止・護身術教室を実施しました！

令和7年8月21日、北海道少年の居場所づくり実行委員会は、少年サポートセンターにて、「性被害防止・護身術教室」を実施しました。

当日は、少年3名、保護者3名、Jumpers（北海道警察学生ボランティア）1名が参加しました。

講話では、医療法人明日葉会札幌マタニティウイメンズホスピタルの助産師保田水子氏を講師として「生命の尊さ・10代の性とからだ」をテーマに性感染症や妊娠の仕組みについて学びました。また、実寸大の胎児、新生児の人形を見て、少年から「自分がこんなに小さかったなんて驚いた」との感想が寄せられました。

護身術教室では、2人1組のペアを作り、北海道警察護身術訓練指導者（ASEDEL）チームのインストラクターを講師に、痴漢や不審者から身を守る実践的な指導を受けました。少年からは「車に引き込まれそうになつたらどうしたらいいの？」と質問するなど積極的な様子が見られました。保護者からも「私の知らないことを知ることができた」「帰つたら改めて子どもと今日のことを話そうと思う」という感想が寄せられました。



聴講している様子



自分でこんなに小さかったの！？



実際にこの護身術使ってみたい！



捕まえられたらこうしよう…